

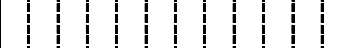
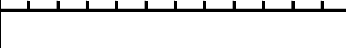


長久手市行政評価票

事業番号	3	事業の名称	広聴事業	担当部署	部	課
					企画部	秘書広報課

事業の目的・概要	(目標) 市政に対するご意見を集め、市政にフィードバックすることで、対象者にとってより良いと感じられる行政サービスを実施する。 (概要) 市民からの意見や提言などを聴くため「ご意見箱」を市内主要施設及び市ホームページに設けている。重要な施策や計画について意見を求める「パブリックコメント制度」も活用している。平成24年度には市民のみなさんと市長が気軽に面談できる場として市役所西庁舎1階に「市政サロン」を設置し、多くの市民が利用している。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全ての行政で行っている。
----------	--	------------------------------------	--------------

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市に関わるすべての人				うち	一般財源																		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市政に対するご意見を集め、市政にフィードバックすることで、対象者にとってより良いと感じられる行政サービスを実施する。					国費・県費																		
						地方債																		
					受益者負担額																			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H24目標値			H24予算	H24決算	H25予算		成果 事業費		
①	ご意見箱	市に関わるすべての人	 常時、市内主要施設に設置のご意見箱及び市ホームページに意見を寄せてもらうことで				意見を担当課及び市長に伝えることにより、行政サービスに反映し、より良いと感じる行政サービスを実施していく。	受付件数 449件	受付件数 (年間)	385 485 440	件	市民からの意見・提案をもらうことは、重要なことであり、積極的に提出できる環境を整えていることから、平成21年度から23年度に掛けての増加率の平均件数を加味する	-	-	-	-	A	平成23年度と比較して受付件数が増加しており、市として意見、提案を聴く姿勢がある程度整っているため。件数が増加しているものの、平成25年度から、アイデア・提案を新たに提出できるよう制度化するとともに、より多くの意見が寄せられるよう、パブコメの実施方法も検討していく。
②	市政サロン	市に関わるすべての人	 市民と市長とが気軽に面談できる場とし、常時、直接ご意見、提案などを寄せてもらうことで				直接市長に伝えることにより、その内容によっては、市長からの指示により、行政サービスに反映していく。	在室回数 58件	在室回数 (年間)	- 58 80	回	1月あたり10回を目安とする。 (10回×8ヶ月) ※議会開催月(4ヶ月)を除くため8ヶ月とする	-	-	-	-	B	昨年秋以降、予想以上に公務が入り、1月あたり平均5回程度の在室という状況となっており目標値の半分となっている。ただし、他市町にもほとんどない先進的な取組であるため、H25年度以降は、より多く在室できるように努める。
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	②	市政サロン		サロンでの面会回数を確保するには、市長の日程管理が重要であり、秘書広報課にて綿密な管理を行い目標値を達成できるようにする。	